

コロナ禍のなかで

生活相談員 主任 阿部 春代

平素は新型コロナウイルス対策におけるふれあいルーム運営へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。コロナ禍のなかでの活動について少しお話させていただきます。

昨年は自粛を念頭に活動してまいりましたが、今年に入り、ソーシャルディスタンスを保ちながら個別での活動を実施しています。上肢・下肢・体幹機能を維持する為の運動を取り入れ、曜日別の活動を行っています。

また下肢筋力維持の為、外気に触れ、季節の移ろいを楽しみながら、屋外歩行訓練として施設内散策を行っています。デイサービスの役割は主に機能訓練を行うことにより社会との繋がりが持てるようになることだと思います。

スタッフがご利用者に関わることで自分から話されない方が発言されたり、笑顔が増えたり、出来なかったことができるようになるまでの過程を含め、発見の連続です。

帰宅時、ご家族に報告するのも嬉しい業務のひとつになっています。ご利用者とのコミュニケーションや笑顔にやりがいを感じます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



季節の制作

春を代表する花や風物を題材に制作して頂きました。



華やかな金の色画用紙使いがポイントの「鯛の吊るし飾り」



お花紙をひねって貼り付けた満開の桜



最近のランドセルのようにカラフルに仕上げました。



桜の花びらが舞う富士山のちぎり絵



桜。ペーパークラフト

介護職 井上 真紀

少しずつ暖かくなり、春は毎年ご利用者と恩田川や東雲寺にお花見に行きますが、今年は一日のみ車窓から鑑賞しました。

自粛中ですが、気分だけでもご利用者に春を感じて頂きたくて、大きな桜を作ろうと思いました。

使用したのはお花紙です。5枚重なっている紙を一枚一枚ご利用者に広げて頂き、ピンクや白の花いっぱい出来上がったところで飾り付け。上の部分は傘を使用しました。下の部分はタコ糸に花を付けて頂き、ぶら下げて、ふれあい枝垂桜の完成です。

設置場所は足温浴のスペースです。ご利用者が足を温めながら、「上手にできましたね。」「とても綺麗ね。」とお声を頂きました。
これからもご利用者に季節を感じて頂ける作品を提案していければと思います。



作業療法「セラパテ」

指先を使う作業療法として「セラパテ」を使用しています。普通の粘土とは異なり、容器の外に出しても固くなったり乾燥しません。粘土の特性を生かし、つまむ・伸ばす・ねじる・押しつぶす等の動作により日常生活に必要な腕・手・指の機能を鍛えることができます。

また、粘土作業をグループで行う事で集中力を高め、自由な発想と表現がコミュニケーションを活性化させます。これからも継続して行っていきます。



お花見ドライブ

車窓からの鑑賞でしたが、恩田川沿いの満開の桜を見に行き、皆様大変喜ばれておりました。来年こそは散策できますように。



医療法人社団芙蓉会

ふれあいルーム

ふよう病院 〒194-0005 東京都町田市南町田 3-43-1



042-788-3302



042-788-3303

FAX 番号が変わりました。

ご利用日のご案内

月曜～土曜日、祝祭日

9:30～16:40

日曜日はお休みです。